

令和 8 年度 国立高等専門学校
入学者選抜学力検査問題等の印刷・梱包一式

仕 様 書

令和 7 年 4 月

独立行政法人 国立高等専門学校機構

I. 仕様概要

1. 調達の背景及び目的

独立行政法人国立高等専門学校機構（以下「機構」という。）における令和 8 年度入学者選抜学力検査問題等（合理的配慮問題を含む本試験と追試験各 5 教科分の問題冊子・解答用紙）（以下「検査問題等」という。）の版下作成業務、印刷・製本業務、機構並びに各国立高等専門学校（以下「学校」という。）に輸送するための仕分け・梱包・輸送業者への引き渡しにかかる業務を調達することを目的とするものである。

2. 履行期間

契約締結日から令和 8 年 2 月 1 5 日（日）までとする。

3. 業務内容

（1）問題冊子及び解答用紙の版下作成

ア 令和 8 年度入学者選抜（令和 7 年度実施）における検査問題等（※）の版下作成に係るスケジュールは、別紙 3 のとおりとする。

※合理的配慮問題用紙・解答用紙の種類は以下のとおり。作成方法等の詳細については後述。（ルビ付き問題冊子・解答用紙とそれ以外の合理的配慮問題用紙・解答用紙では版下作成スケジュールが異なるため注意すること）

◆問題用紙

- ・ルビ付き問題冊子
- ・拡大問題用紙（A4 原稿を A3 用紙に拡大印刷する想定、拡大倍率 170% 程度）

◆解答用紙

- ・ルビ付き解答用紙（マークシート）
- ・チェック解答用紙
- ・文字解答用紙

イ 機構は、Word 形式、Excel 形式、PDF 形式等のファイルを CD-R に書き込んだものを、原稿（※）として引き渡す。2 回校正以降は、校正紙への書き込み等により校正内容として指示する。版下のフォントは「BIZ UD 黎ミン」「BIZ UD 新ゴ」（強調箇所等）を基調として作成し納品すること。ただし、打ち合わせ時に、問題作成担当者と確認の上作成する。

※詳細は「（別紙 4）機構が提供する原稿について」を参照すること。

ウ 版下作成時の校正紙の部数は以下のとおりとする。ただし、部数及び製本の要否は別途指示する場合がある。

【問題冊子と解答用紙（ルビ付きを含む）】

1) 1 回校正及び 2 回校正

- ・両面印刷かつ製本されていないもの：各教科 1 1 部

- ・片面印刷かつ製本されていないもの：各教科 1 部
- ・PDF データ：1 式

2) 3 回校正以降（念校正以外）

- ・製本されたもの：各教科 1 1 部
- ・片面印刷かつ製本されていないもの：各教科 1 部
- ・PDF データ：1 式

3) 念校正及び校了後の完成品

- ・製本されたもの：各教科 5 部
- ・片面印刷かつ製本されていないもの：各教科 1 部
- ・PDF データ：1 式

【ルビ付き以外の合理的配慮問題用紙（拡大問題）・ルビ付き以外の合理的配慮解答用紙（文字・チェック解答用紙）】

1) 念校正以外（原則 1 回校正のみだが、追加の校正が生じた場合はその校正も含む）

- ・片面印刷かつ片側をホッチキス止めしていないもの：各教科 4 部
- ・PDF データ：1 式

2) 念校正及び校了後の完成品

- ・片面印刷かつ片側をホッチキス止めたもの：各教科 4 部
- ・PDF データ：1 式

エ 合理的配慮問題用紙・解答用紙の版下作成方法等は以下の通りとする。

○ルビ付き問題用紙・解答用紙について

- ・通常の問題冊子及び解答用紙のデータを基に、請負者においてルビを振り作成する。
- ・読みが困難と思われる文字については、機構から読み方を指示するが、指示していない箇所においても読みが不明の箇所がある場合は機構へ問い合わせること。

○文字解答用紙・チェック解答用紙について

- ・提供する解答用紙原稿データ（通常の解答用紙原稿データ）から、提供する見本のような形となるよう作成することを基本とすること。
- ・印刷時は A4 サイズ横向き、短編綴じ、ステーブル 1 か所（全教科左側）となる想定でデータを作成すること。
- ・提供する解答用紙原稿データの解答欄の区分（大問番号、小問番号等）に対応した解答欄を作成すること。
- ・受験番号は原稿データのとおりに、7 ケタ（2 ケタ＋ハイフン＋5 ケタ）の

記入欄を作成すること。

- ・大問ごとに改ページを挟むこと。
- ・提供する見本を参考に同程度のフォントサイズとすること。

○拡大問題用紙について

- ・拡大問題用紙は A4 原稿を 170% 程度の倍率で拡大し、余白は見切れても差し支えないが、問題文及びページ番号は見切れない大きさに A3 用紙に印刷できるように調整したデータを作成すること。また、ページ番号の位置は変更しても差し支えない。

オ 校正紙の表紙右上（国語は左上）に、「校正回数（1 回校正や 2 回校正など）」「通し番号」「戻し日」「試験区分（本試験、追試験）」「教科名」「区分（ルビ付き、拡大、文字解答、チェック解答）」を記載すること。記載はシールでの貼付も可とする。

カ 原稿及び校正紙等の引き渡し・受領場所は機構竹橋オフィス（東京都千代田区一ツ橋 2-1-2。以下「竹橋オフィス」という）とする。ただし、機構から別途受け取り場所の指示があった場合は、指示された場所にて受け渡しを行うこと。

4. 印刷業務、仕分け・梱包業務の内容

（1）印刷物等の名称及び数量

令和 8 年度入学者選抜における数量等は以下の通りである。

※ルビ付き問題冊子・解答用紙以外の合理的配慮問題用紙・解答用紙についてはデータ納品のみ

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
印刷物 教科	本試験 問題冊 子	本試験 解答用 紙	本試験 問題冊 子（ル ビ付 き）	本試験 解答用 紙（ル ビ付 き）	追試験 問題冊 子	追試験 解答用 紙	追試験 問題冊 子（ル ビ付 き）	追試験 解答用 紙（ル ビ付 き）
（単位：部）								
国語	19,400	19,400	各 20	各 20	6,000	6,000	各 20	各 20
数学	19,400	19,400	各 20	各 20	6,000	6,000	各 20	各 20
英語	19,400	19,400	各 20	各 20	6,000	6,000	各 20	各 20
理科	19,400	19,400	各 20	各 20	6,000	6,000	各 20	各 20
社会	17,300	17,300	各 20	各 20	6,000	6,000	各 20	各 20

※機構と請負者による協議により、数量を変更する場合には、入札内訳書の価格をもって変更契約を行うものとする。

(2) 規格、紙質、仕上げ仕様

	①③⑤⑦	②④⑥⑧
印刷物 教科	問題冊子 ※ルビ付き問題冊子を含む	解答用紙 ※ルビ付き解答用紙を含む
共通	・ A 4 判、両面印刷 ・ ステープルによる中とじ 2 カ所 ・ モノクロ印刷 ・ 上質紙 (A 判 35.5 kg もしくは菊判 38.5 kg) ・ グリーン購入法適合物品であること。	・ A 4 判、片面または両面印刷 ・ O C R 紙 (四六判連量 90kg) ・ ドロップアウトカラーインクによる 2 色印刷 (機構が別途調達する O C R 機器の仕様により指定するもの) ・ 通常想定される使用方法下で、インクの擦れや滲みが発生しないこと
国語	右開き、20 頁以下	片面印刷 (1 枚)
数学	左開き、16 頁以下	両面印刷 (1 枚)
英語	左開き、12 頁以下	片面印刷 (1 枚)
理科	左開き、24 頁以下	両面印刷 (1 枚)
社会	左開き、20 頁以下	片面印刷 (1 枚)

(3) 納品方法

印刷物 (梱包方法は別紙 5 を参照)

	①	②	⑤	⑥	③④⑦⑧
	本試験 問題冊子	本試験 解答用紙	追試験 問題冊子	追試験 解答用紙	ルビ付き問題冊子及び ルビ付き解答用紙
封包単位	25 部以下の任意の 5 の倍数ごとに切り返し、100 部ごとに封包。	50 部ごとに切り返しもしくは 50 部ごとに合紙、100 部ごとに封包。	10 部ごとに切り返し、50 部ごとに封包。	50 部ごとに封包。	10 部ごとに切り返し、20 部で封包。

封包方法	・クラフト紙包の上面に試験区分・教科名を記載したハガキ大サイズ程度のシールを貼付 ・試験区分・教科別色指定及び教科名を記載したシールの仕様は別紙５のとおり	・クラフト紙包の上面１カ所に試験区分、教科名、合理的配慮の内容を記載したハガキ大サイズ程度の大きさのシールを貼付
ダンボールの大きさ	・内寸 475mm(W)×325mm(D)×285mm(H) 厚さ 5mm ※令和７年度入学者選抜（令和６年度実施）における実績は、上記サイズの段ボールを 450 枚（予備 30 枚を含む）使用。なお、令和７年度入学者選抜で使用した段ボールは既製品ではなく、本業務のために制作されたものである。 ・発注した成果物の全てを梱包が可能であること ・機構の承認を受けたうえで請負者が用意すること	
ダンボールでの梱包	・問題冊子は教科単位で、同一の段ボール箱に収めること。 ・解答用紙と問題冊子は、別の段ボール箱に収めること（解答用紙は複数の教科を１つの段ボール箱に入れて構わない）。１つの段ボール箱に収まらない場合は、段ボール箱の数を増やすこと。 ・追試験は、複数の教科の問題冊子及び解答用紙を１つの段ボールに入れて構わない。 ・内容物の破損防止のため、状況に応じて緩衝材（エアークッション等）を同梱すること。 ・箱は、布テープで密封した後、ＰＰバンドで４カ所締めること。この際、ＰＰバンドの締め過ぎにより段ボールを破損しないこと。 ・学校名及び内容物を記したハガキ大サイズ程度のシールを、梱包前日までに段ボール箱の全ての側面に１枚ずつ貼付すること。なお、表示内容及び様式、シールの大きさ等は、別紙５のとおり。	③④⑦⑧でまとめて段ボール箱に収めること。
輸送先ごとの仕分け数	別紙６のとおり	竹橋オフィス

データ

	①③⑤⑦	②④⑥⑧
	問題冊子（拡大問題用紙を含む）	解答用紙（文字・チェック解答用紙を含む）
形式	Word 形式及び PDF 形式のファイル	Excel 形式及び PDF 形式のファイル
媒体	パスワードを付与した CD-R 等の電子媒体	

（４）仕分け・梱包等

ア 印刷物別の封包数、部数及び輸送先学校名は、別紙 6 「令和 8 年度国立高等専門学校入学者選抜学力検査問題等仕分け数」のとおり。

イ 輸送先（「竹橋オフィス」を除く）への輸送準備（梱包日）及び輸送業者への引き渡し日は以下のとおり。

- ・ 梱包日 令和 8 年 1 月 1 9 日（月）
- ・ 輸送業者への引き渡し日 令和 8 年 1 月 2 6 日（月）

ウ 輸送先（「竹橋オフィス」）への納品日は以下のとおり。

- ・ 納品日 令和 8 年 1 月 9 日（金）

エ ルビ付き問題冊子・ルビ付き解答用紙・データは全て竹橋オフィスへ以下の日程で納品すること。

- ・ 納品日 令和 8 年 1 月 9 日（金）

（５）印刷・仕分け・梱包等関係業者による打合せ

以下に示す関係業者による打合せに出席すること。打合せ場所はいずれも竹橋オフィスとする。

- ・ 機構が契約する光学式マーク読取装置保守会社との打合せ
機構が別途定める日（1 0 月下旬頃）
- ・ 機構が契約する輸送業者との打合せ
機構が別途定める日（1 2 月中旬頃）

（６）印刷物の不具合について

納品後に汚損、落丁、乱丁等の不具合が判明した場合には、不具合を解消した印刷物を用意し機構が指示した輸送方法（セキュリティ便等）により、学校に輸送すること。

Ⅱ．受注要件

1．業務実施に係る事項

①必須事項（提案内容によって、加点あり）

- (1) プライバシーマーク制度によるプライバシーマーク使用許諾、ISO/IEC27001、JISQ27001 のうちいずれかの認証を受けていること。
- (2) 過去5年以内（令和2年度～令和6年度実施）に、国公立大学、高等専門学校、高等学校の入学試験又は国家資格試験等の試験問題において問題冊子及びマークシート形式の解答用紙で類似する案件の受注実績があること。【優れている場合加点】
- (3) 業務遂行が可能な人員を確保していること。また、機構からの要望等に迅速かつ柔軟に対応できる体制が確保されていること。【優れている場合加点】
- (4) 業務実施手続きを示す業務フロー又は工程表等を作成すること。
- (5) 原稿またはこれらのデータ類及び印刷物等の機密品（以下「機密品」という。）を持ち運ぶ場合は施錠できる搬送容器を利用し、複数人で持ち運ぶこと。なお、「持ち運ぶ」とは、機密品を管理区域から外へ移動させること又は当該区域の外から当該区域へ移動させることをいい、事業所内の移動等であっても、機密品の紛失・盗難等に留意する必要がある。盗難・漏えい等の防止の観点において優れた仕組みや工夫がある場合はそれを示すこと。【優れている場合加点】
- (6) 機構が実施する試験を受験する社員又は同居家族がいる社員は、作業に従事させないこと。
- (7) 解答用紙については、機構が指示する規格による印刷を行うことが可能であり、以下の光学式マーク読取装置を使用して読み取ることが可能であること。
 - 機構が使用する光学式マーク読取装置
 - 光学式マーク読取装置：OpScan 4ES
 - 採点システム：Score Academy Plus
 - 製造メーカー：Scantron 社
 - ※契約後に、当該機器に対応する「マークシート設計ガイド」を機構から提供する。
- (8) 情報漏洩が発生しないよう、本件を機密品の印刷として位置づけること。
- (9) 機密品を管理・保管する区域（以下「管理区域」という。）は、IC カード等の電子的入退室管理システムにより、最小限の人員のみが管理区画へアクセスでき、かつ入退室の記録が残るよう適切に管理されていること。なお、管理区域は自社が所有又は複数年の賃貸契約を締結している建築物内に置かれ、無窓であり正規の入口以外からは物理的に破壊しなければ侵入ができないものであること。また、これらを証する書類等（契約書、管理規則、監視カメラ等の配置、管理区域の図面、入退室管理システムの仕様及び

管理区域の写真等)を入札関係書類とともに提出すること。【優れている場合加点】

- (10) 印刷所や梱包作業所では、通信端末や撮影機器の持ち込み・使用を禁止すること。また、これらを証する書類等(管理規則等)を入札関係書類とともに提出すること。
- (11) 印刷等に使用した用紙については、成果物、損紙等の種類ごとに数量を管理し、使用した数量と成果物と損紙等との合計数の突合を行い、保管管理すること。【優れている場合加点】
- (12) 仕分け・梱包後に倉庫等で保管する際は、学校ごとに区分けして管理し、問題冊子・解答用紙及び他の印刷物と混在させないこと。
- (13) 各工程において、汚損、落丁、乱丁等の不具合がないかについて、電子的機器を用いた確認を行うなど、厳重な品質管理の下、作業を行うよう適切な提案を行うこと。また、これらを証する書類等(機器の仕様、確認方法等)を入札関係書類とともに提出すること。【優れている場合加点】
- (14) 作業場所及び試験問題等の保管場所は、竹橋オフィスから100km以内に位置する場所とする。
- (15) 上記(1)～(14)を満たすことを確認できる契約実績、業務従事者の経歴及び業務実績、業務実施体制及び体制図(様式:自由)を入札時に提示すること。なお、実施体制図、業務実績に記載する担当者名はイニシャルを可とする。

②任意事項(加点あり)

- (1) 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)に基づく認定(プラチナえるぼし、えるぼし認定企業)等、次世代育成支援対策推進法(次世代法)に基づく認定(くるみん認定企業・トライくるみん認定・プラチナくるみん認定企業)及び、青少年の雇用の促進等に関する法律に基づく認定企業(ユースエール認定企業)については加点するので、認定されていることが確認できる書面の写しを提出すること。【該当する場合加点】

2. 第三者委託

請負者は、本業務を自ら履行するものとし、本業務の全部を第三者に委託し、又は請け負わせてはならない。業務の一部を委託する場合は、機構の承認を得ること。

3. 機密保持

- (1) 受注により知り得た全ての情報について守秘義務を負うものとし、これを第三者に漏らし、又は他の目的に使用しないこと。
- (2) 受注により知り得た全ての情報については、契約期間はもとより、契約終了後においても第三者に漏らしてはならない。

- (3) 正当な理由があつてやむを得ず第三者に開示する場合は、書面によって事前に機構の承認を得ること。また、情報の厳重な管理を実施すること。
- (4) 機構及び学校が提供した資料は、原則として全て複製禁止とすること。ただし、業務上やむを得ず複製する場合であつて事前に書面にて機構の許可を得た場合はこの限りではない。なお、この場合であっても業務終了後はその複製を機構に返納するか、焼却・消去する等適切な措置をとり、秘密を保持すること。

4. 損害賠償

請負者が本契約に違反して、機構が損害を被った場合には、機構は請負者に対して損害賠償を請求し、かつ、機構が考える必要な措置をとることを請求できる権利を有するものとする。

5. その他

- (1) 本調達の履行について疑義が生じたとき、又は本調達に伴い機構と交わす契約書に定めない事項については、機構及び請負者の双方で協議の上、決定すること。それにより追加業務等が発生する場合は、機構本部事務局財務課契約係を通して発注するので、請負者はそれ以外の者からの発注や依頼を受け付けないこと。
- (2) 請負者の故意又は過失により損害が発生した場合は、請負者の責により原状復帰すること。
- (3) 過去の入学試験問題印刷・梱包業務において発生したミスや事故等の事例を別紙7に示すので、業務実施の参考とすること。

「令和 8 年度 国立高等専門学校
入学者選抜学力検査問題等の印刷・梱包一式」

総合評価基準

令和 7 年 4 月
国立高等専門学校機構

本資料は、独立行政法人国立高等専門学校機構（以下「当機構」という。）が調達する「令和８年度 国立高等専門学校入学者選抜学力検査問題等の印刷一式」に係る入札の評価に関する基準について示すものである。

1 入札価格の評価方法

入札価格の評価については、次のとおりとする。

入札価格の得点は、入札価格を予定価格で除して得た値を１から減じて得た値に入札価格に対する得点配分を乗じて得た値とする。

$$\text{入札価格の得点} = \text{価格点の配分} \times (1 - \text{入札価格} \div \text{予定価格})$$

2 技術等の評価方法

入札に係る技術等の評価は、別冊の仕様書、別紙２（評価項目及び得点配分基準並びに加点付与基準）（以下「評価基準」という。）に基づき、以下のとおり評価を行う。

なお、仕様書及び評価基準に記載されていない技術等は評価の対象としない。

また、仕様書及び評価基準に記載されている技術等であっても、入札に係る技術等が当機構としての必要度・重要度に照らして、必要な範囲を超え、評価する意味のないものは評価の対象としないことがある。

- （１）評価基準に記載する必須の評価項目に係る技術等については、評価基準に記載する必須の基礎点を与え、更に、それを超える部分については、評価に応じ評価基準に示す加点の点数の範囲内で得点を与える。
- （２）仕様書に記載する技術等の要求要件（以下「技術的要件」という。）を満たしているか否かの判定及び評価基準に基づき付与する得点の判定は、技術審査委員会において、提出された総合評価に関する書類その他入札説明書で求める提出資料の内容を審査して行う。

3 得点配分

区分	価格点	技術点	合計
配点	1 0 0	2 0 0	3 0 0

4 総合評価の方法

- （１）入札価格及び技術等の総合評価は、次の各要件に該当する入札者のうち、「１ 入札価格の評価方法」により得られた入札価格の得点に、「２ 技術等の評価方法」により得られた当該入札者の申込みに係る技術等の各評価項目の得点の合計を加えて得た数

値をもって行い、当該数値の最も高い者を落札者とする。

① 予定価格の制限の範囲内の入札価格を提示した競争加入者であること。

② 入札に係る技術等が仕様書で規定する技術的要件のうち必須とした要求要件を全て満たしている技術等を提案した入札者であること。

(2) 上記数値の最も高い者が2人以上であるときは、当該者にくじを引かせて落札者を決定する。この場合において、当該入札者のうち出席しない者又はくじを引かないものがあるときは、入札執行事務に関係のない職員に、これに代わってくじを引かせ落札者を決定する。

【別紙2】			
「令和8年度 国立高等専門学校入学者選抜学力検査問題等の印刷・梱包 一式」に係る加点付与基準			
評価項目（要求要件）	評価区分		
	大変優れている	優れている	ふつう
1. 業務実施(95点)			
1-1 過去5年以内(令和2年度～令和6年度実施)に、国公立大学、高等専門学校、高等学校の入学試験又は国家資格試験等の試験問題において問題冊子及びマークシート形式の解答用紙で類似する案件の受注実績があること。	過去5年以内に、国公立大学等の高等教育機関、高等学校の入学試験について5件以上の実績がある 15	過去5年以内に国公立大学等の高等教育機関、高等学校の入学試験について3件以上の実績がある 10	0
1-2 業務遂行が可能な人員を確保していること。また、機構からの要望等に迅速かつ柔軟に対応できる体制が確保されていること。組織としての体制が優れているものには加点する。	-	担当ごとの役割等を工夫することにより、組織的に業務を適切に実施できる工夫を持つ 5	0
1-3 原稿またはこれらのデータ類及び印刷物等の機密品(以下「機密品」という。)を持ち運ぶ場合は施錠できる搬送容器を利用し、複数人で持ち運ぶこと。なお、「持ち運ぶ」とは、機密品を管理区域から外へ移動させること又は当該区域の外から当該区域へ移動させることをいい、事業所内の移動等であっても、機密品の紛失・盗難等に留意する必要がある。盗難・漏えい等の防止の観点において優れた仕組みや工夫がある場合はそれを示すこと。優れているものには加点する。	公共交通機関を利用しないなどのほか、情報秘匿や鍵の保持方法について優れた仕組みや工夫を複数持つ 15	公共交通機関を利用しないなどのほか、情報秘匿や鍵の保持方法について優れた仕組みや工夫を持つ 10	0
1-4 機密品を管理・保管する区域(以下「管理区域」という。)は、ICカード等の電子的入退室管理システムにより、最小限の人員のみが管理区画へアクセスでき、かつ入退室の記録が残るよう適切に管理されていること。なお、管理区域は自社が所有又は複数年の賃貸契約を締結している建築物内に置かれ、無窓であり正規の入口以外からは物理的に破壊しなければ侵入ができないものであること。また、これらを証する書類等(契約書、管理規則、監視カメラ等の配置、管理区域の図面、入退室管理システムの仕様及び管理区域の写真等)を入札関係書類とともに提出すること。優れているものには加点する。	電子的入退室管理システムを有するほか、特に重要な箇所には警備員を常駐させるなど優れた仕組みや工夫を持つ 20	電子的入退室管理システムを有するほか、監視カメラを配置するなど優れた仕組みや工夫を持つ 10	0
1-5 印刷等に使用した用紙については、成果物、損紙等の種類ごとに数量を管理し、使用した数量と成果物と損紙等との合計数の突合を行い、保管管理すること。優れているものには加点する。	人的確認のほかに、ウエイトチェッカー等電子機器を用いた仕組みや工夫を持つ 20	人的確認のほかに、優れた仕組みや工夫を持つ 10	0
1-6 各工程において、汚損、落丁、乱丁等の不具合がないかについて、電子的機器を用いた確認を行うなど、厳重な品質管理の下、作業を行うよう適切な提案を行うこと。また、これらを証する書類等(機器の仕様、確認方法等)を入札関係書類とともに提出すること。優れているものには加点する。	人的確認のほかに、カメラ検査装置等電子機器を用いた仕組みや工夫を持つ 20	人的確認のほかに、優れた仕組みや工夫を持つ 10	0
2. ワークライフバランスについて(5点)			
2-1 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)に基づく認定(プラチナえるぼし、えるぼし認定企業)等、次世代育成支援対策推進法(次世代法)に基づく認定(くるみん認定企業・トライくるみん認定・プラチナくるみん認定企業)及び、青少年の雇用の促進等に関する法律に基づく認定企業(ユースエール認定企業)については加点するので、認定されていることが確認できる書面の写しを提出すること。	○女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)に基づく認定(プラチナえるぼし、えるぼし認定企業)等 ・プラチナえるぼし※1 5 ・えるぼし3段階目※2 4 ・えるぼし2段階目(労働時間等の働き方に係る基準は満たすこと)※2 3 ・えるぼし1段階目(労働時間等の働き方に係る基準は満たすこと)※2 2 ・行動計画策定済(女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の策定義務がない事業主(常時雇用する労働者の数が100人以下のもの)に限る(計画期間が満了していない行動計画を策定している場合のみ)※3 1 ○次世代育成支援対策推進法(次世代法)に基づく認定(くるみん認定企業・トライくるみん認定・プラチナくるみん認定企業) ・プラチナくるみん※4 5 ・くるみん(令和7年4月1日以降の基準)※5 4 ・くるみん(令和4年4月1日～令和7年3月31日までの基準)※6 3 ・トライくるみん(令和7年4月1日以降の基準)※7 3 ・くるみん(平成29年4月1日～令和4年3月31日までの基準)※8 3 ・トライくるみん(令和4年4月1日～令和7年3月31日までの基準)※9 3 ・くるみん(平成29年3月31日までの基準)※10 2 ・行動計画(令和7年4月1日以降の基準)※3、※11 1 ○青少年の雇用の促進等に関する法律(若者雇用促進法)に基づく認定 ・ユースエール認定 4 ※内閣府男女共同参画局長の認定等相当確認を受けている外国法人については、相当する各認定等に準じて加点する。		

- ※1 女性活躍推進法第12条の規定に基づく認定
- ※2 女性活躍推進法第9条の規定に基づく認定
なお、労働時間等の働き方に係る基準は満たすことが必要。
- ※3 常時雇用する労働者の数が100人以下の事業主に限る(計画期間が満了していない行動計画を策定している場合のみ)
- ※4 次世代法第15条の2の規定に基づく認定
- ※5 次世代法第13条の規定に基づく認定のうち、次世代育成支援対策推進法施行規則の一部を改正する省令(令和6年厚生労働省令 第146号。(以下「令和6年改正省令」という。))による改正後の、次世代育成支援対策推進法施行規則(以下「新施行規則」という。)第4条第1項第1号及び第2号の規定に基づく認定
- ※6 次世代法第13条の規定に基づく認定のうち、令和6年改正省令による改正前の次世代育成支援対策推進法施行規則第4条第1項第1号及び第2号又は令和6年改正省令附則第2条第2項の規定によりなお従前の例によることとされた令和6年改正省令による改正前の次世代育成支援対策推進法施行規則第4条第1項第1号及び第2号に掲げる基準による認定(ただし、※8 及び※10 の認定を除く。)
- ※7 次世代法第13条の規定に基づく認定のうち、新施行規則第4条第1項第3号及び第4号に掲げる基準による認定
- ※8 次世代法第13条の規定に基づく認定のうち、次世代育成支援対策推進法施行規則の一部を改正する省令(令和3年厚生労働省令第185号。以下「令和3年改正省令」という。))による改正前の次世代育成支援対策推進法施行規則第4条又は令和3年改正省令附則第2条第2項の規定によりなお従前の例によることとされた令和3年改正省令による改正前の次世代育成支援対策推進法施行規則第4条に掲げる基準による認定(ただし、※10の認定を除く。)
- ※9 次世代法第13条の規定に基づく認定のうち、令和6年改正省令による改正前の次世代育成支援対策推進法施行規則第4条第1項第3号及び第4号又は令和6年改正省令附則第2条第2項の規定によりなお従前の例によることとされた令和6年改正省令による改正前の次世代育成支援対策推進法施行規則第4条第1項第3号及び第4号に掲げる基準による認定
- ※10 次世代法第13条の規定に基づく認定のうち、次世代育成支援対策推進法施行規則等の一部を改正する省令(平成29年厚生労働省令第31号。以下「平成29年改正省令」という。))による改正前の次世代育成支援対策推進法施行規則第4条又は平成29年改正省令附則第2条第3項の規定に基づく認定
- ※11 次世代法第12条の規定に基づく一般事業主行動計画のうち、育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律及び次世代育成支援対策推進法の一部を改正する法律(令和6年法律第42号)による改正後の次世代法第12条第5項の規定に基づき令和7年4月1日以後に策定又は変更を行ったもの

検査問題等の校正に係るスケジュール

月日	①	②	③
	問題冊子 (ルビ付き問題冊子を含む)	解答用紙 (ルビ付き解答用紙を含む)	ルビ付き以外の合理的配慮問題冊子(拡大問題) ルビ付き以外の合理的配慮解答用紙(文字・チェック解答用紙)
令和7年 10月 6日(月)	1回校正 入稿(機構⇒請負者)		
令和7年 10月 24日(金)	1回校正 戻し(請負者⇒機構)		
令和7年 10月 31日(金)	2回校正 入稿(機構⇒請負者)		
令和7年 11月 7日(金)	2回校正 戻し(請負者⇒機構)		
令和7年 11月 14日(金)	3回校正(本機校正) 入稿(機構⇒請負者)		1回校正 入稿(機構⇒請負者)
令和7年 11月 21日(金)	3回校正(本機校正) 戻し(請負者⇒機構)		1回校正 戻し(請負者⇒機構)
令和7年 11月 25日(火)	念校正 入稿(機構⇒請負者)		念校正 入稿(機構⇒請負者)
令和7年 11月 28日(金)	念校正 戻り(請負者⇒機構)		念校正 戻り(請負者⇒機構)
令和7年 12月 1日(月)		校了	
令和7年 12月 9日(火)	校了		校了

- ※ 契約後にスケジュールが変更される場合がある。
- ※ 各教科最大2回まで校正が追加される場合がある(追加の校正は上記スケジュールにおける「念校正 戻り」から「校了」の間で行う。)
- ※ 校了の予定日より前の日付でも、修正の必要が無くなった科目があった場合は、その科目のみ(全科目の修正が完了した場合は全科目)校了とする可能性がある。

機構が提供する原稿について

1 原稿の仕様

(1) 機構が提供する原稿の種類

- ・学力検査問題（表紙を含む、Word、PDF 等）
- ・解答用紙（Excel 原稿）

(2) 機構が提供する原稿の仕様

○用紙サイズ：A4

○余白：上下 25 左右 23

○フォント：「BIZ UD 明朝」「BIZ UD ゴシック」（強調箇所等）を基調

※請負者がデータを作成する際及び印刷時のフォントは、仕様書の通り「BIZ UD 黎ミン」「BIZ UD 新ゴ」へ置き換えて作成すること。

○フォントサイズ：10.5pt

○文字数・行数：横書き 42 文字×35 行、縦書き 65 文字×23 行

2 問題原稿作成上の留意事項

原稿の作成担当に対しては、「問題原稿作成上の留意事項」として、以下の内容を提示している。請負者においても、データを作成する際の参考とすること。

(1) 学力検査問題の形式

ア 社会、数学、理科、英語は横書き、国語は縦書きで作成する。

イ 問題の設問番号の表記は、次の例による（文字数にも注意）。

1	問 1	1	(1)	ア	(ア)	a	(a)
2	問 2	2	(2)	イ	(イ)	b	(b)
□□	□□	□	□□□	□	□	□	□
[文字数]	[2]	[2]	[1]	[3]	[1]	[1]	[1]

* 直近の過去問題も参照しつつ、必ず教科内では統一する。

ウ 設問番号の原稿用紙への記入は、次の例を参考に作成する。

□□□□□□□

1

 大問は 1 字目から記載開始

問 1 は 3 字目から記載開始

* 直近の過去問題も参照しつつ、教科内で違和感を生じないように調整する。

(2) 原稿の字数・行数等

ア 問題用紙の規格は A 4 判（横書き 42 文字×35 行、縦書き 65 文字×23 行）で、各教

科以下のページ数以下とする。

【問題用紙ページ数上限（表紙を含む）】

- ・国語：20 ページ
- ・社会：20 ページ
- ・数学：16 ページ
- ・理科：24 ページ
- ・英語：12 ページ

イ 「123」、「WHO」などの数値、アルファベットは原則として半角を使用するものとし、句読点（「、」「。」「，」）は必ず全角を使用する。

ウ 字体（斜体（イタリック）、太字（ゴシック）等）、字の大きさ（ポイント増減等）、間隔（1文字アケ・2行アケ等）、右寄せ・上寄せ等、特に指定する場合で**提供する原稿への入力が困難な場合には、入稿時に別途指示する。**

（3）学力検査問題のページ構成

大問（1 等）の開始ページは原則として見開きの左側から始まるようにしてください。（国語を除く。）また、各小問、選択肢、図についても、できるだけ見開きの中で納め、裏ページにまたがらないように配慮する。

（4）問題設定等の留意事項

ア 問かけ文の形式（～選びなさい、～選べ）は、例年のものを参考に、教科内で統一する。

イ 問題の構成は、「問かけ文」・「問題文」・「解答選択肢」に分け、条件設定・表現等は、受験者が誤解を生じないように配慮する。

ウ 「正しくないもの」、「適切でないもの」等を選択させる場合は、アンダーライン、傍点等で表示する。

エ 「必ずしも～ない」、「一般的に」などの、曖昧な表現に使用されることの多い用語は避ける。

オ 「i ii iii・・・」は、合理的配慮の観点から使用を避ける。

カ 問題文中の「後の」は漢字で表記する。（「あとの」にしない）

キ 選択肢を選ぶ問題について、「～最も適当なものを選び」ではなく、「～最も適当なものを次のア～オから選べ」のような表現に統一する。

(7) その他

文字等は正確に入力してください。特に、「0」（ゼロ）、「0」（オー）、「○」（マル）や「1」（イチ）、「I」（アイ）、「1」（エル）は、入力間違いのないようにする。句読点は、句点は「。」、読点は横書きでは「,」（カンマ）、縦書きでは「、」（テン）を用いる。

4 図版に関する留意事項

(1) 図版原稿の作成方法

ア 図版の原稿は、手書き・方眼紙またはイラストソフト等で示す。

機構からの指示の際、特記事項等は朱書きで表現する等、図版そのものとは別であることを明示する。

(2) 図、表、グラフ等を用いる場合の留意事項

ア 原稿に当該図がまだ存在しない場合は、で囲う等により挿入位置、大まかな必要スペースを明らかにする。（後にページ数に影響が出ると、大幅なページ数増や、調整が難しい場合があるため）。

イ 図版、あるいは「問」に対する回答群等ができるだけ裏ページにまたがらないようにレイアウトに配慮する。

ウ 図版のキャプション（表の見出し、写真のタイトル等）を図版の中に含めると、大きさを調整する際にキャプションまで併せて拡大・縮小されてしまう等、文字として扱う場合に比して種々の支障を生じるため、図版のキャプション等は原稿内の文字として記載し、図版データに含めないようにする。

エ 弱視志願者への配慮を想定し、図版の中に使用する文字は原則 10.5pt 以上とし、可能な範囲で、視認性の高いシンプルな図を意識する。

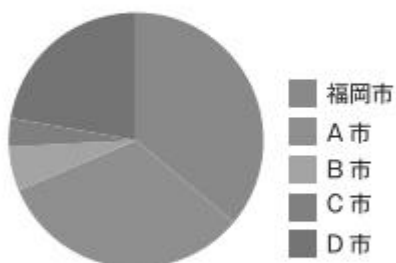
オ 灰色塗部の中に文字を入れることは、原則避けてください。やむを得ず入れる場合は、ふちを大きめに白抜きするなど見えやすさに配慮する。

カ 図版中の記号が見えにくい場合は、で囲う等により、見えやすさに配慮する。

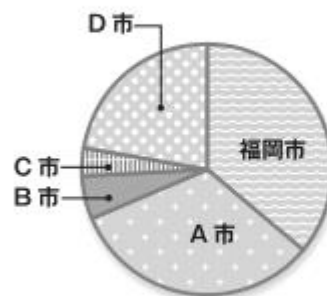
キ グラフの要素は隣り合う項目同士がはっきりと異なるよう、模様や形、説明などで領域や文字が区別できるようにする。

◆参考

グラフの場合



- ①色だけで領域を区別しており、明度の差も少ない。
- ②領域間に境界線がない。



- ①色だけでなく飾りや文字などで領域を区別している。
- ②領域間に境界線がある。

(3) ルビ振りを考慮した図版原稿の作成

難読症、識字障害等の志願者への合理的配慮を想定し、問題文か図版かに関わらず、漢字全てにルビを振った問題を作成するため、漢字による説明等を伴う図版案は、十分な余白ができるようご配慮する。

(本試験) 仕様書3. ①②

(追試験) 仕様書3. ⑤⑥

※「教科カラー」について：

- ・「系統色」であればよく、厳密に同色でなくともよい。
- ・包装シールの色などで 一目して分かるようにすること

※使用する包装紙については機構と事前に協議すること

シールの各教科の色分け等

教科	教科 カラー	シール上の 表記	箱番号 (基本)	箱番号 (社会の問題冊子を 数学に入れる場合)
国語	黄緑色	国	1	1
社会	紫色	社	2	
数学	水色	数	3	2
理科	黄色	理	4	3
英語	赤色	英	5	4
解答用紙等	黒色	解答用紙等	6	5
追試験分 (10ページ以降参照)			7	6

各教科1箱ずつとなる例。箱数が複数となる場合は箱番号を増やすこと。

※箱番号は追試験分につづく(追試験で1番に戻さない)

※後述の「箱総数」には追試験分を含むこと

学校名の表記

キャンパスなし

99機構・八

「学校番号2桁」 + 「学校名最大3文字」

(本試験)問題冊子 クラフト紙包用シール

教科カラー

R08 99 機構・八 問題冊子	国	3
------------------------	---	---

R08、学校番号、
学校名、問題冊子・
解答用紙の区分

教科名

クラフト紙包の
最大数(教科毎)

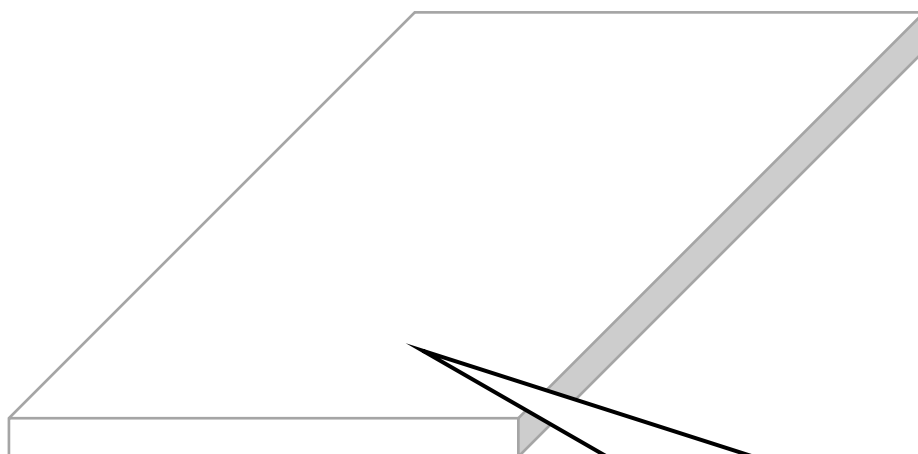
クラフト紙包の
「上面1カ所」に貼付

R08 99 機構・八 問題冊子	国	3
R08 99 機構・八 問題冊子	社	3
R08 99 機構・八 問題冊子	数	3
R08 99 機構・八 問題冊子	理	3
R08 99 機構・八 問題冊子	英	3

(本試験)解答用紙 クラフト紙包用シール

(記載内容は, 問題冊子用と同じ)

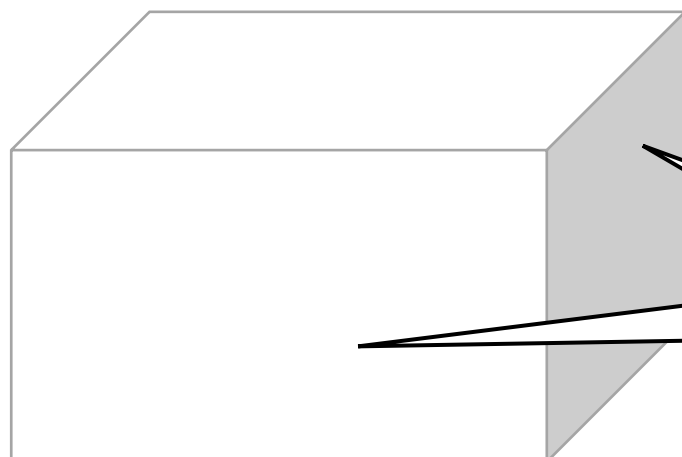
R08 99 機構・八 解答用紙	国	3
------------------------	---	---



クラフト紙包の
「上面1カ所」に貼付

(本試験)ダンボール箱シール

R08 99 機構・八		輸送方法 (後日別途通知)
輸送	JRコンテナ便	箱番号／箱総数
箱番号	1 / 7	箱の中身
内容種別	問題冊子	教科名
教科	国	1箱に入っている 問題冊子の部数
部数	300	1箱に入っている クラフト紙包の数
包数	3	



箱の「全ての側面」
に貼付

R08 99 機構・八

輸送

JRコンテナ便

箱番号

1 / 7

内容種別

問題冊子

教科

国

部数

300

包数

3

複数教科を同一のダンボールに同梱する
場合は、次ページ参照

(本試験)ダンボール箱シール 問題冊子用
(数学と社会を同一の段ボールに同梱する場合)

R08 99 機構・八

輸送

JRコンテナ便

箱番号

2／8

内容種別

問題冊子

教科等	国	数	英	理	社	
部数	0	300	0	0	100	
包数	0	3	0	0	1	

複数教科の問題冊子をダンボールに同梱する場合は、1箱に入っている教科の部数等を記載

例: 5教科

R08 99 機構・八						
輸送		JRコンテナ便				
箱番号			6／8			
内容種別			解答用紙等			
教科等	国	数	英	理	社	
部数	300	300	300	300	300	
包数	3	3	3	3	3	

1箱に入っている各教科の部数等を表記する

(追試験)各教科の色分け等

教科	カラー	シール上の 表記	箱番号 (基本)	箱番号 (問題冊子・解答 用紙を分離)
国語(追)	茶色	国	7	7
社会(追)	茶色	社		
数学(追)	茶色	数		
理科(追)	茶色	理		
英語(追)	茶色	英		
解答用紙等 (追)	茶色	解答用紙等		8

全教科1箱となる例。箱数が複数となる場合は箱番号を増やす。

※箱番号は、本試験分からの続き番号とする。

※問題冊子と解答用紙は1箱にまとめることとし、入りきらない場合は8箱とする。

学校名の表記

キャンパスなし

R08 01 函館

「和暦」 + 「学校番号2桁」 + 「学校名最大3文字」

キャンパスあり

R08 08-1 仙台・広

「和暦」 + 「学校番号2桁」 + 「-」 + 「枝番号1桁」 + 「学校名2文字」 + 「・」 + 「キャンパス名1文字」

(追試験)問題冊子 クラフト紙包用シール

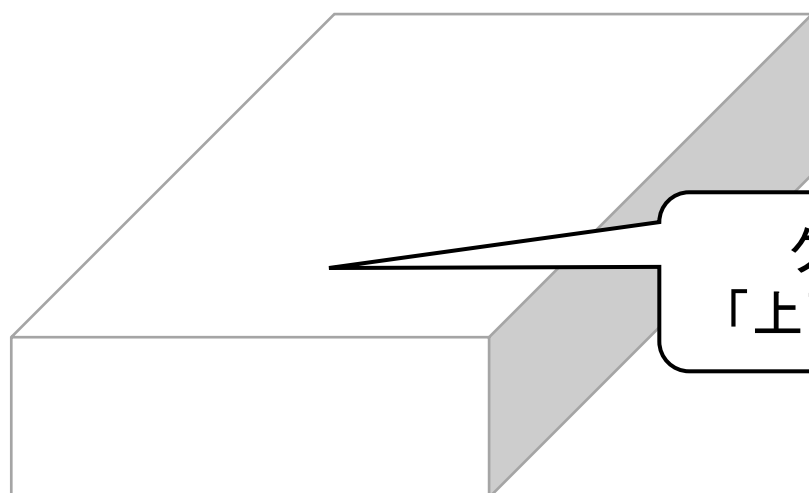
カラー

R08 99 機構・八 問題冊子	国 (追)	1
------------------------	----------	---

R08、学校番号、
学校名、問題冊子・
解答用紙の区分

教科名

クラフト紙包の
最大数

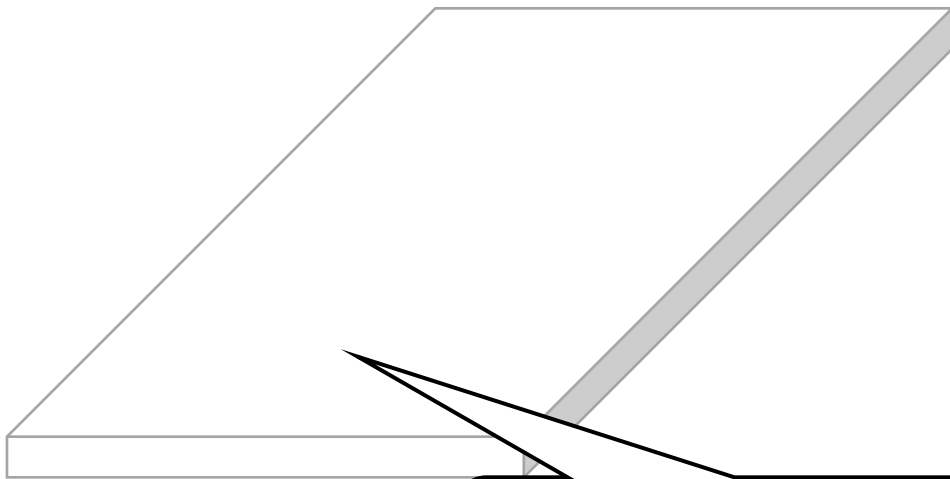


クラフト紙包の
「上面1カ所」に貼付

R08 99 機構・八 問題冊子	国 (追)	1
R08 99 機構・八 問題冊子	社 (追)	1
R08 99 機構・八 問題冊子	数 (追)	1
R08 99 機構・八 問題冊子	理 (追)	1
R08 99 機構・八 問題冊子	英 (追)	1

(追試験) 解答用紙 クラフト紙包用シール
(記載内容は、問題冊子用と同じ)

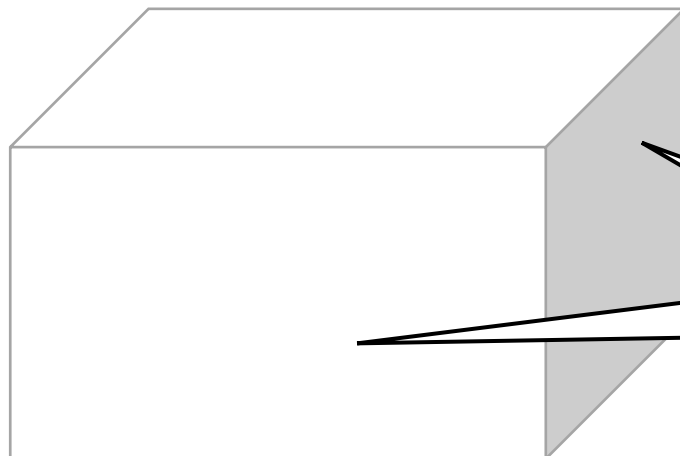
R08 99 機構・八 解答冊子	国 (追)	1
------------------------	----------	---



クラフト紙包の
「上面1カ所」に貼付

(追試験)ダンボール箱シール

教科カラー							学校名 (学校番号+学校名)						
R08 01 函館													
輸送				JRコンテナ便									
箱番号				7 / 8									
内容種別				問題冊子(追)									
教科等	国	数	英	理	社	教科名							
部数	50	50	50	50	50	1箱に入っている問題冊子の部数							
包数	5	5	5	5	5	1箱に入っているクラフト紙包の数							



箱の「全ての側面」
に貼付

R08 01 函館

輸送

JRコンテナ便

箱番号

7 / 8

内容種別

問題冊子(追)

教科等

国

数

英

理

社

部数

50

50

50

50

50

包数

5

5

5

5

5

(追試験)ダンボール箱シール

例： 問題冊子と解答用紙を同梱する場合

R08 01 函館						
輸送		JRコンテナ便				
箱番号			7 / 7			
内容種別			問題冊子(追)			
			解答用紙(追)			
教科等	国	数	英	理	社	
部数	50	50	50	50	50	
	50	50	50	50	50	
包数	1	1	1	1	1	
	1	1	1	1	1	

1箱に入っている各教科の部数等(各項の上段に問題冊子、下段に解答用紙)を表記する

R08 01 函館						
輸送		JRコンテナ便				
箱番号			8 / 8			
内容種別			解答用紙(追)			
教科等	国	数	英	理	社	
部数	50	50	50	50	50	
包数	1	1	1	1	1	

1箱に入っている各教科の部数等を表記する

令和 8 年度 国立高等専門学校入学者選抜学力検査問題等仕分け数

学校 番号	学校名	学校名 (シール表 記)	本試験												追試験											
			部数(問題冊子と解答用紙は同数)						クラフト紙封包数(問題冊子と解答用紙は同数)						部数(問題冊子と解答用紙は同数)						クラフト紙封包数(問題冊子と解答用紙は同数)					
			教科					合計	教科					合計	教科					合計	教科					合計
			国語	数学	英語	理科	社会		国語	数学	英語	理科	社会		国語	数学	英語	理科	社会		国語	数学	英語	理科	社会	
1	函館工業高等専門学校	函館	300	300	300	300	300	1,500	3	3	3	3	3	15	100	100	100	100	100	500	1	1	1	1	1	5
2	苫小牧工業高等専門学校	苫小牧	500	500	500	500	500	2,500	5	5	5	5	5	25	100	100	100	100	100	500	1	1	1	1	1	5
3	釧路工業高等専門学校	釧路	400	400	400	400	400	2,000	4	4	4	4	4	20	100	100	100	100	100	500	1	1	1	1	1	5
4	旭川工業高等専門学校	旭川	400	400	400	400	400	2,000	4	4	4	4	4	20	100	100	100	100	100	500	1	1	1	1	1	5
5	八戸工業高等専門学校	八戸	300	300	300	300	300	1,500	3	3	3	3	3	15	100	100	100	100	100	500	1	1	1	1	1	5
6	一関工業高等専門学校	一関	300	300	300	300	300	1,500	3	3	3	3	3	15	100	100	100	100	100	500	1	1	1	1	1	5
7-1	仙台高等専門学校(広瀬)	仙台・広	300	300	300	300	300	1,500	3	3	3	3	3	15	100	100	100	100	100	500	1	1	1	1	1	5
7-2	仙台高等専門学校(名取)	仙台・名	400	400	400	400	400	2,000	4	4	4	4	4	20	100	100	100	100	100	500	1	1	1	1	1	5
8	秋田工業高等専門学校	秋田	100	100	100	100	100	500	1	1	1	1	1	5	100	100	100	100	100	500	1	1	1	1	1	5
9	鶴岡工業高等専門学校	鶴岡	300	300	300	300	100	1,300	3	3	3	3	1	13	100	100	100	100	100	500	1	1	1	1	1	5
10	福島工業高等専門学校	福島	300	300	300	300	300	1,500	3	3	3	3	3	15	100	100	100	100	100	500	1	1	1	1	1	5
11	茨城工業高等専門学校	茨城	500	500	500	500	500	2,500	5	5	5	5	5	25	100	100	100	100	100	500	1	1	1	1	1	5
12	小山工業高等専門学校	小山	400	400	400	400	400	2,000	4	4	4	4	4	20	100	100	100	100	100	500	1	1	1	1	1	5
13	群馬工業高等専門学校	群馬	400	400	400	400	400	2,000	4	4	4	4	4	20	100	100	100	100	100	500	1	1	1	1	1	5
14	木更津工業高等専門学校	木更津	500	500	500	500	500	2,500	5	5	5	5	5	25	100	100	100	100	100	500	1	1	1	1	1	5
15	東京工業高等専門学校	東京	500	500	500	500	200	2,200	5	5	5	5	2	22	100	100	100	100	100	500	1	1	1	1	1	5
16	長岡工業高等専門学校	長岡	300	300	300	300	300	1,500	3	3	3	3	3	15	100	100	100	100	100	500	1	1	1	1	1	5
17-1	富山高等専門学校(本郷)	富山・本	200	200	200	200	200	1,000	2	2	2	2	2	10	100	100	100	100	100	500	1	1	1	1	1	5
17-2	富山高等専門学校(射水)	富山・射	200	200	200	200	200	1,000	2	2	2	2	2	10	100	100	100	100	100	500	1	1	1	1	1	5
18	石川工業高等専門学校	石川	600	600	600	600	100	2,500	6	6	6	6	1	25	100	100	100	100	100	500	1	1	1	1	1	5
19	福井工業高等専門学校	福井	300	300	300	300	300	1,500	3	3	3	3	3	15	100	100	100	100	100	500	1	1	1	1	1	5
20	長野工業高等専門学校	長野	400	400	400	400	400	2,000	4	4	4	4	4	20	100	100	100	100	100	500	1	1	1	1	1	5
21	岐阜工業高等専門学校	岐阜	500	500	500	500	100	2,100	5	5	5	5	1	21	100	100	100	100	100	500	1	1	1	1	1	5
22	沼津工業高等専門学校	沼津	300	300	300	300	300	1,500	3	3	3	3	3	15	100	100	100	100	100	500	1	1	1	1	1	5
23	豊田工業高等専門学校	豊田	500	500	500	500	500	2,500	5	5	5	5	5	25	100	100	100	100	100	500	1	1	1	1	1	5
24	鳥羽商船高等専門学校	鳥羽	300	300	300	300	300	1,500	3	3	3	3	3	15	100	100	100	100	100	500	1	1	1	1	1	5
25	鈴鹿工業高等専門学校	鈴鹿	700	700	700	700	700	3,500	7	7	7	7	7	35	100	100	100	100	100	500	1	1	1	1	1	5
26	舞鶴工業高等専門学校	舞鶴	300	300	300	300	300	1,500	3	3	3	3	3	15	100	100	100	100	100	500	1	1	1	1	1	5
27	明石工業高等専門学校	明石	300	300	300	300	300	1,500	3	3	3	3	3	15	100	100	100	100	100	500	1	1	1	1	1	5
28	奈良工業高等専門学校	奈良	200	200	200	200	200	1,000	2	2	2	2	2	10	100	100	100	100	100	500	1	1	1	1	1	5
29	和歌山工業高等専門学校	和歌山	200	200	200	200	100	900	2	2	2	2	1	9	100	100	100	100	100	500	1	1	1	1	1	5
30	米子工業高等専門学校	米子	500	500	500	500	500	2,500	5	5	5	5	5	25	100	100	100	100	100	500	1	1	1	1	1	5
31	松江工業高等専門学校	松江	400	400	400	400	400	2,000	4	4	4	4	4	20	100	100	100	100	100	500	1	1	1	1	1	5
32	津山工業高等専門学校	津山	400	400	400	400	400	2,000	4	4	4	4	4	20	100	100	100	100	100	500	1	1	1	1	1	5
33	広島商船高等専門学校	広島	200	200	200	200	200	1,000	2	2	2	2	2	10	100	100	100	100	100	500	1	1	1	1	1	5
34	呉工業高等専門学校	呉	300	300	300	300	300	1,500	3	3	3	3	3	15	100	100	100	100	100	500	1	1	1	1	1	5
35	徳山工業高等専門学校	徳山	400	400	400	400	400	2,000	4	4	4	4	4	20	100	100	100	100	100	500	1	1	1	1	1	5
36	宇部工業高等専門学校	宇部	400	400	400	400	400	2,000	4	4	4	4	4	20	100	100	100	100	100	500	1	1	1	1	1	5
37	大島商船高等専門学校	大島	400	400	400	400	400	2,000	4	4	4	4	4	20	100	100	100	100	100	500	1	1	1	1	1	5
38	阿南工業高等専門学校	阿南	200	200	200	200	200	1,000	2	2	2	2	2	10	100	100	100	100	100	500	1	1	1	1	1	5
39-1	香川高等専門学校(高松)	香川・高	300	300	300	300	300	1,500	3	3	3	3	3	15	100	100	100	100	100	500	1	1	1	1	1	5
39-2	香川高等専門学校(詫間)	香川・詫	200	200	200	200	200	1,000	2	2	2	2	2	10	100	100	100	100	100	500	1	1	1	1	1	5
40	新居浜工業高等専門学校	新居浜	400	400	400	400	400	2,000	4	4	4	4	4	20	100	100	100	100	100	500	1	1	1	1	1	5
41	弓削商船高等専門学校	弓削	200	200	200	200	200	1,000	2	2	2	2	2	10	100	100	100	100	100	500	1	1	1	1	1	5
42	高知工業高等専門学校	高知	100	100	100	100	100	500	1	1	1	1	1	5	100	100	100	100	100	500	1	1	1	1	1	5
43	久留米工業高等専門学校	久留米	500	500	500	500	500	2,500	5	5	5	5	5	25	100	100	100	100	100	500	1	1	1	1	1	5
44	有明工業高等専門学校	有明	300	300	300	300	300	1,500	3	3	3	3	3	15	100	100	100	100	100	500	1	1	1	1	1	5
45	北九州工業高等専門学校	北九州	300	300	300	300	300	1,500	3	3	3	3	3	15	100	100	100	100	100	500	1	1	1	1	1	5
46	佐世保工業高等専門学校	佐世保	300	300	300	300	300	1,500	3	3	3	3	3	15	100	100	100	100	100	500	1	1	1	1	1	5
47-1	熊本高等専門学校(八代)	熊本・八	300	300	300	300	300	1,500	3	3	3	3	3	15	100	100	100	100	100	500	1	1	1	1	1	5
47-2	熊本高等専門学校(熊本)	熊本・熊	3>																							

過去の入学試験問題等印刷・梱包業務に関するミスや事故等の事例

以下は過去の入学試験問題印刷・梱包業務において発生したミスや事故等の事例を共有しますので、参考としてください。

① 梱包部数の誤り

試験問題・解答用紙の梱包部数誤りが発生した（本来 100 部の包が 90 部、50 部の包が 46 部等）。複数の年度、複数の高専において、度々発生している。

② 解答用紙の裁断精度について

断裁時の位置ズレ（マークから用紙の端までの距離が一定でない、直角が出ていない）により、読み取りテストにおいて解答用紙の読取に支障（OMRの読み取りエラー）が生じた。なお、仕様に適合するマークシートを作成いただくため、契約後に「マークシート設計ガイド」を提供する予定である。

③ 梱包段ボールの変形・破損

段ボールが変形・破損しているものがあり、破損した段ボールは輸送時に補強や箱の差し替えを行ったこともあった。原因としては PP バンドの締め付けが強かったことや、箱の取扱いが乱雑であったことなどが想定される。複数の年度、複数の高専において、度々発生している。

④ 梱包段ボールのラベル誤り

段ボール側面に貼り付けるラベルについて、1/6～6/6 と口数表記があるべきところ、1/6, 2/6, 3/6, 4/6, 5/6, 7/7となっていた。

梱包時は、ラベル表示の数と箱数が一致することを必ず確認する。

⑤ インクによる用紙の汚損

問題用紙または解答用紙において、インクの付着による汚損により、使用に耐えない用紙が納品された事例があった。複数の年度、複数の高専において、度々発生している。